

## 令和5年度 いでは文化記念館運営協議会 会議概要

○日 時 令和6年3月27日(水)9時30分～11時30分

○場 所 いでは文化記念館 2階レクチャールーム

○出席委員(順不同)

粕谷典史、阿部良一(代)、長南慈恵(代)、神林只男、工藤重美、國井儀昭、今野新一

○市側出席者

羽黒庁舎産業建設課:上林課長、宮本専門員

○指定管理者側出席者

羽黒町観光協会:吉住事務局長、富樫学芸員

○次第

報 告

(1) 令和5年度事業実施状況について

(2) 設備等改修工事について

(3) 運営に関する調査状況について

協 議

(1) 令和6年度事業計画(案)について

(2) その他

○公開・非公開の別

公 開

## ○質疑・協議内容

### 報告（１）令和５年度事業実施状況について

#### 〈月山刀関連事業〉

[委員] 神社の歴史博物館にある月山刀も現在は重要文化財だが、国宝に格上げする価値も十分にある。そういう運動も必要では。

#### 〈仏教と神道〉

[委員] 教育、信仰、観光どの面から見ても、これからは仏教と神道で一緒にやっていかなければ御山は栄えていかない。そのためには、お互いのことを勉強していく必要がある、いでは文化記念館の存在が役立つと思う。

観光協会と正善院で「御戸開き」事業を実施したということだが、神仏混交の文化を学ぶ意味で良い取り組み。ぜひ目先を変えながら、定期的を開催してもらえば、広がっていくと思う。神社でも定期的に講座などを企画するという事なので、一緒になってやってもらいたい。

#### 〈三浦恒祺関連事業〉

[委員] 昨年この会議で触れた三浦恒祺さんとの企画は実現していただけてうれしい。

### 協 議（１）令和６年度事業計画（案）について

#### 〈門前町手向の紹介〉

[委員] 天宥別当など”ポイント”の紹介も大事だが、本来の順番で手向の”ルート”を紹介することも、いでは文化記念館でこそやるべき仕事だと思う。まちづくりの中でも手向のまち歩き誘導はみんな気にしていること。聞き逃した方も次回聞けるように複数回開催していただければ、定着していくと思う。

#### 〈イベントの周知方法〉

[委員] まち歩きイベントも観光協会、自治振興会などそれぞれで周知しているので、知らない人がいる。いではそれらの事業を網羅して一覧化することはできない

か。チラシが出てきて直前に知ることが多いので、できれば年間を通したものが  
あるとよい。

[委員] 講座とかギャラリートークは良い取組なのに、参加人数が少ない。企画展示の内容は周知されているが、イベントについてはあまり伝わっていないのでは。  
例えば年間パスポートがあれば、イベント情報について敏感になってもらえるのでは。

#### 〈共通券〉

[委員] いでは・歴史博物館・黄金堂で共通券をつくることも考えられるが、以前いでは文化記念館と歴史博物館で共通券をつくった際、市が絡むのでお金の管理が非常に煩雑だったので、もっと簡略化してほしい。

冬季休業の施設もあるので、1回で全部回れなくても、1年の内ならいつ来てもいいよ、というモノならば、他の施設への興味も持ってもらえるし、良いものになると思う。

[委員] 日光でも昔は共通券があったが、今はそれぞれで独自にお金を取った方が儲かるのかそうしている流れのようだ。

[委員] お金の問題だけでなく、お客を回らせる方法を考えるという点で、もっとやり方を考えて実現すべきと思う。

[事務局] 入館料が条例で決まっているため、仕組みを変えるには多少時間がかかる。例えば半券を持っていったら割引という方法を採用すれば、お金のやりとりは発生しない。最初に行った施設では割引にならないが。

[委員] 半券でなくてスタンプでもいい。月毎に精算でなく期間の最後だけにするとかはできないのか。

[委員] 市の施設なのでこの場では結論が出ない。プロジェクトとして検討すべき。  
神社でも随神門で入山料をとることを検討しているとのこと。そうなると、あちこちでお金を払うことになる。お客からしたら、お金の細かい所という印象を持たれてしまうのでは。

[委員] 神社と黄金堂は民間で、そこに拠点として市が入る形を考えるなら、なおさらスムーズに行く方法を考えてほしい。

#### 〈食に関する展示など〉

[委員] 2階にあった古写真や薬草は、改修後は展示していないのか？

[事務局] 1階に移設して展示している。

[委員] 食文化関連ということで薬草や産物的なものに興味がある人もいるので、そういうものに関する企画をしてはどうか。

[委員] 私も、祭りの料理などに絞った話は展示として面白そう、という意見を聞く。

#### 〈神社との連携〉

[委員] 神社でも辰にちなんだ事業を2カ年計画でやるらしいので、それを踏まえて連携することも必要と思う

#### 〈子どもたちの参加〉

[委員] 地元にも実は子供が結構いるが、親を含めて来館する気になるかどうかというとなかなか難しい。勉強会という年代によっては難しいので、とにかくいでは足を運ばせるイベントを各集落へ案内することはできると思う。自治振興会でやっている夏山登山を活用してもいい。そういうところからいではの存在感や地域の文化を感じてもらい、地域の行事として認められるような活動をされたら良い。

[委員] 「親子で文化財巡り」のような事業を他にもしている。続けていくことでだんだん増えると思うし、地域の人の言葉が一番の魅力発信になると思う。

[委員] 難しく考える必要はなく、とにかく子供を楽しませればよい。外を回って歩かせるイベントなら楽しいのでは。子供は大人より歩ける。

[委員] 校長会でチラシを配らせてもらったが、実際は展示内容が難しく、いではそのものを子供たちが利用するのは難しい。ただ、いではピンポイントではなくて、石段登りと組み合わせ、そこから広げていければ地域振興にもなる。

そのためにはまず先生方の意識改革が必要。例えば、教育委員会では先生が参加しやすい夕方から1時間位で研修会をやっている。そこに鶴岡市だとか羽黒町の歴史というテーマを盛り込むことも可能なので、教えてほしい。指導主事だけでは説明できない内容なので、皆さんのお力を借りる形になる。

[委員] 黄金堂は羽黒山の歴史が凝縮されている場所なのに、常時開放されていないので敷居が高い。親子で来れる企画をすれば、知らなかったことに驚くと思う。

[委員] 先生方から黄金堂に来てもらうという企画があれば、正善院でも引き受ける。

#### 〈法要〉

[委員] 正善院で天宥さんの時代と同じ形式の法要をやることもできる。手向の人は神社

形式しか知らない人が多いので、興味を持つと思う。

#### 〈電子決済〉

[委員] 今は電子決済を含めた多様な決済方法が当たり前。神社のお賽銭も同じ問題を抱えている。対応を考えてもらいたい。

[委員] 実際に、小銭を持たないで来て付近に ATM もないし困っている人がいる。

#### 〈アナウンスの利用〉

[委員] 前館長をしていた立場から言うと、学芸員が一人しかいないので、皆様からもアイデアをたくさん出してもらえばと思う。周知が難しいというのは感じていて、紙媒体や SNS を使っても知らない人はいる。その辺もアドバイスもらえれば。

[委員] いではのアナウンスは周辺にも聞こえるので、定時でほら貝の音をながしたら興味を持つのではないか。そのうえでお越しくささいという使い方したらどうか。

#### 〈インバウンド対策〉

[委員] インバウンド対応は、頭数という面でやはりアジアからの誘客も視野にいれなければならないのでは。どう考えているか。

[事務局] パンフレットやホームページは作っているが、どこにアプローチしたらよいかかわからなく、とにかく発信しているという状況。

[委員] いではガイドで英語専門チームもつくっているはず。まだ需要が少ないが。

#### 〈二次避難所〉

[委員] いではは二次避難場所となっているが、万が一、一時的に避難したい場合どうなるか。

[事務局] 基本的には市の判断が必要だが、カギはいではの職員が持っている。